

2015年2月5日

**2014年のペットにかかる1ヶ月の平均飼育費用**  
**「8,206円」**  
**2013年との比較で1,796円減少**  
**～ペットの飼育費に関する家計簿調査～**

T & D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：仲尾 孝）は、ペットを飼っている20～80代の男女1,000人を対象に、『ペットの飼育費に関する家計簿調査』（インターネット調査）を実施しました。

**調査概要**

- 調査対象：全国の20歳以上の男女（犬もしくは猫を飼っている方）
- 有効回答数：1,000サンプル（男性・531サンプル、女性・469サンプル）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査期間：2015年1月5日(月)～2015年1月8日(木)

**調査背景**

2014年は増税やアベノミクスなど、家計に関わるニュースが多かった1年。ペットオーナーとペットの家計事情はどのような1年だったのでしょうか。そこで、犬、猫のペットオーナーに対し、「ペットの飼育費に関する家計簿調査」を行いました。

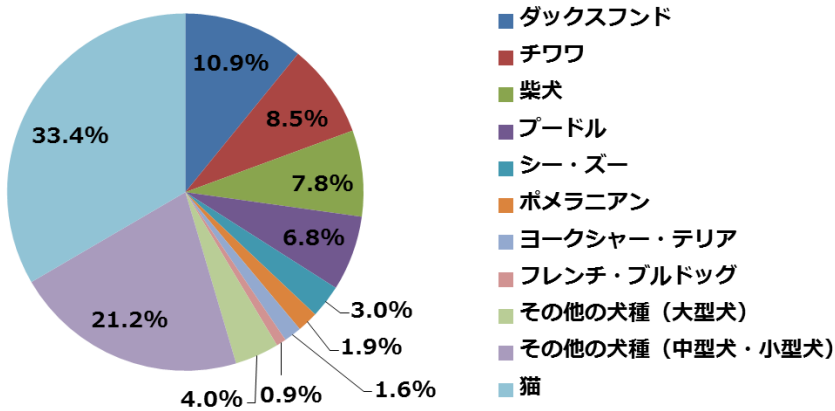
**調査結果サマリー**

- 1ヶ月の平均飼育費用は「¥8,206」と前年同時期の調査結果「¥10,002」と比較し、月間費用で¥1,796減少（前年比82.0%）していることがわかった。
- ペットにかかる費用を「食費」や「おやつ費」など計7項目でお聞きしたところ、2013年との比較では、犬オーナー・猫オーナー共に全ての項目でマイナスとなった。
- ペットの家計に占める各項目の割合を2013年と比較すると、「食費（+1.0pt）」「おやつ費（+0.8pt）」「医療費（-2.5pt）」の変動が大きく、「食」に関する費用の割合が増加している。
- アベノミクスの影響については「影響はなかった」との回答がオーナー自身の家計で59.3%、ペットの家計で72.5%と多数。
- ペットのためにもっと費用をかけたいと思っている項目は「食費」で64.2%と半数以上が回答、次いでおやつ費が20.3%となった。「食費」「おやつ費」とともに2013年と比べペットの家計に占める割合が増加しており、平均費用が減少するなかでも「食」を充実させたいというペットオーナーの意向が汲み取れる。
- 2014年にペットのために奮発して購入したものは、「犬小屋」や「ペットカート」といった商品に加え、「医療費」という回答も。家計における医療費の割合は減少しているものの、万が一の際の負担が大きいことがうかがえる。一方、オーナーが奮発して購入したものは自動車やリフォームなど。

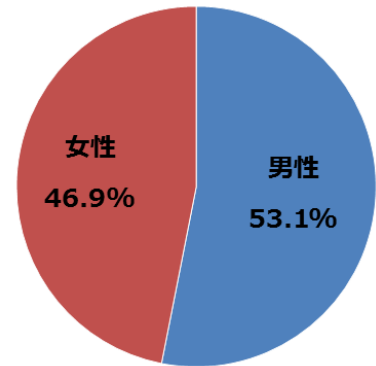
## NewsRelease

### 調査結果概要

#### ■ 飼っているペットの種類



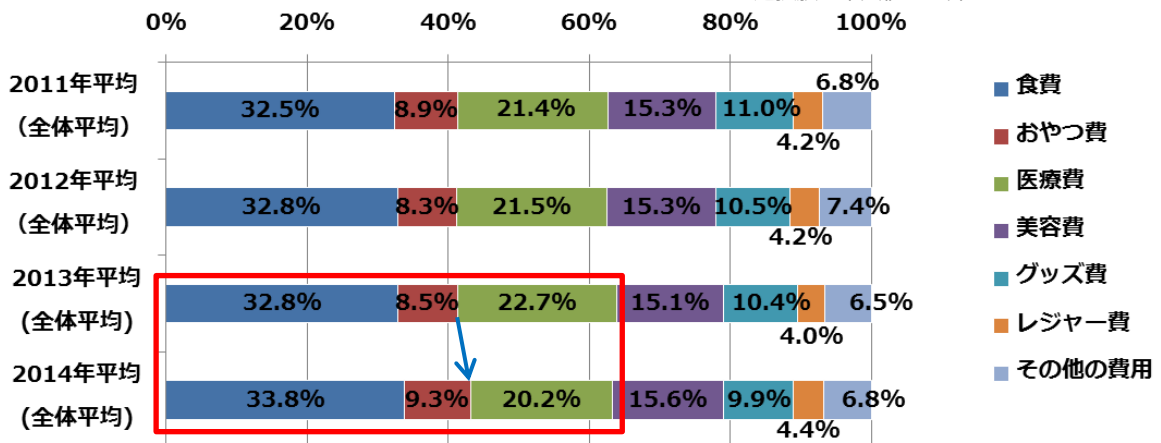
#### ■ ペットオーナーの性別



#### ■ 1ヶ月の平均飼育費用の対比 (全体)

回答結果	2011年平均 (全体平均)	2012年平均 (全体平均)	2013年平均 (全体平均)	2014年平均 (全体平均)	前年比
食費	¥ 3,140	¥ 2,974	¥ 3,284	¥ 2,776	↓ 84.5%
おやつ費	¥ 858	¥ 755	¥ 846	¥ 765	↓ 90.4%
医療費	¥ 2,066	¥ 1,945	¥ 2,266	¥ 1,660	↓ 73.2%
美容費	¥ 1,482	¥ 1,390	¥ 1,511	¥ 1,282	↓ 84.8%
グッズ費	¥ 1,060	¥ 948	¥ 1,040	¥ 813	↓ 78.2%
レジャー費	¥ 404	¥ 378	¥ 400	¥ 357	↓ 89.3%
その他の費用	¥ 662	¥ 675	¥ 653	¥ 555	↓ 85.0%
平均合計	¥ 9,673	¥ 9,065	¥ 10,002	¥ 8,206	↓ 82.0%

※それぞれの選択肢の中央値から算出

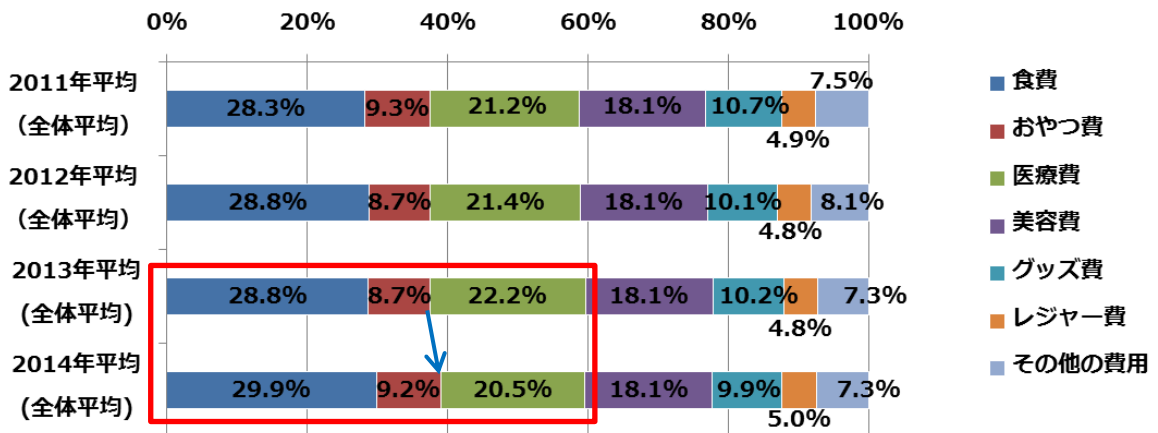


ペットの1ヶ月の飼育費用をお聞きしたところ、平均飼育費用は8,206円となり、2013年の平均と比較すると、マイナス¥1,796（前年比 82.0%）となりました。また、項目ごとの費用の比較においても全ての項目でマイナスとなっており、消費税や円安による物価の上昇等を背景とした消費者マインドの弱さにより、個人消費の回復が足踏みしている状況が反映されていると考えられます。さらに、ペットの家計に占める各項目の割合を2013年と比較すると、「食費(+1.0pt)」「おやつ費(+0.8pt)」「医療費(-2.5pt)」の変動が大きく、「食」に関する費用の割合が増加しています。

## NewsRelease

### ■ 1ヶ月の平均飼育費用の対比（犬オーナー）

回答結果	2011年平均 (全体平均)	2012年平均 (全体平均)	2013年平均 (全体平均)	2014年平均 (全体平均)	前年比
食費	¥ 3,123	¥ 2,969	¥ 3,299	¥ 2,907	↓ 88.1%
おやつ費	¥ 1,023	¥ 901	¥ 1,001	¥ 899	↓ 89.8%
医療費	¥ 2,341	¥ 2,204	¥ 2,545	¥ 1,989	↓ 78.1%
美容費	¥ 2,001	¥ 1,869	¥ 2,076	¥ 1,763	↓ 84.9%
グッズ費	¥ 1,186	¥ 1,036	¥ 1,164	¥ 966	↓ 83.0%
レジャー費	¥ 544	¥ 491	¥ 546	¥ 489	↓ 89.5%
その他の費用	¥ 826	¥ 837	¥ 832	¥ 709	↓ 85.3%
平均合計	¥ 11,044	¥ 10,307	¥ 11,462	¥ 9,721	↓ 84.8%

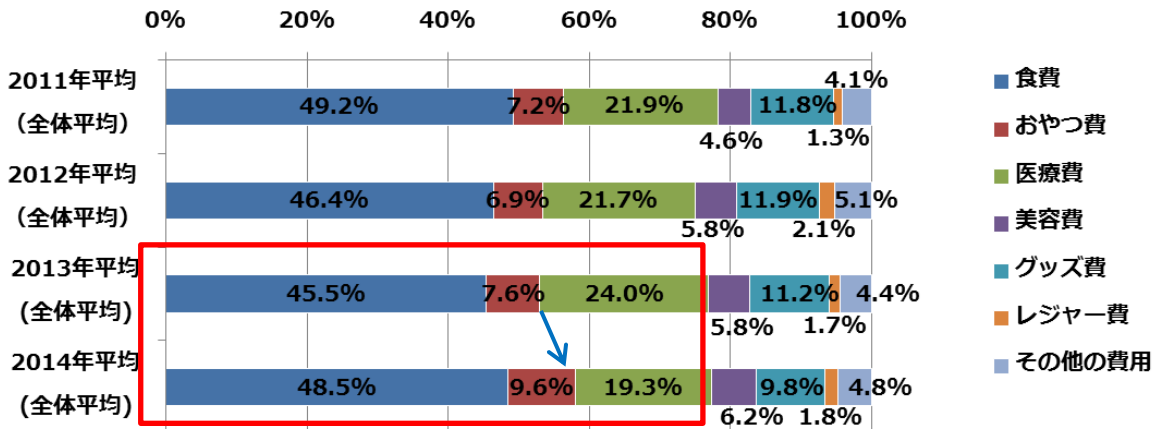


犬オーナーの平均飼育費用は2013年と比べ、マイナス¥1,741（前年比84.8%）となりました。項目ごとの費用の割合では、「食」に関わる費用である食費とおやつ費の合算で39.1%となり、2013年（37.5%）と比べ1.6pt上昇する一方、医療費が20.5%となり2013年（22.2%）と比べ1.7pt減少しています。「食」に関わる費用割合の増加により、家計における食費全般の割合を示すエンゲル係数が高まる結果となり、他の項目への消費に関するマインドの弱さがうかがえます。

# NewsRelease

## ■ 1ヶ月の平均飼育費用の対比（猫オーナー）

回答結果	2011年平均 (全体平均)	2012年平均 (全体平均)	2013年平均 (全体平均)	2014年平均 (全体平均)	前年比
食費	¥ 3,023	¥ 2,985	¥ 3,256	¥ 2,513	↓ 77.2%
おやつ費	¥ 443	¥ 443	¥ 541	¥ 498	↓ 92.0%
医療費	¥ 1,345	¥ 1,396	¥ 1,715	¥ 1,003	↓ 58.5%
美容費	¥ 281	¥ 372	¥ 416	¥ 322	↓ 77.4%
グッズ費	¥ 728	¥ 762	¥ 802	¥ 507	↓ 63.3%
レジャー費	¥ 77	¥ 138	¥ 119	¥ 94	↓ 79.3%
その他の費用	¥ 249	¥ 330	¥ 313	¥ 247	↓ 78.9%
平均合計	¥ 6,146	¥ 6,428	¥ 7,160	¥ 5,185	↓ 72.4%



猫オーナーの平均飼育費用は 2013 年と比べマイナス¥1,975（前年比 72.4%）となりました。項目ごとの費用の割合では、食費・おやつ費の合算で 58.1%となり、2013 年（53.1%）と比べ 5.0pt 上昇する一方、医療費が 19.3%となり、2013 年（24.0%）と比べ 4.7pt 減少するなど、犬オーナーと同様の傾向が見受けられます。

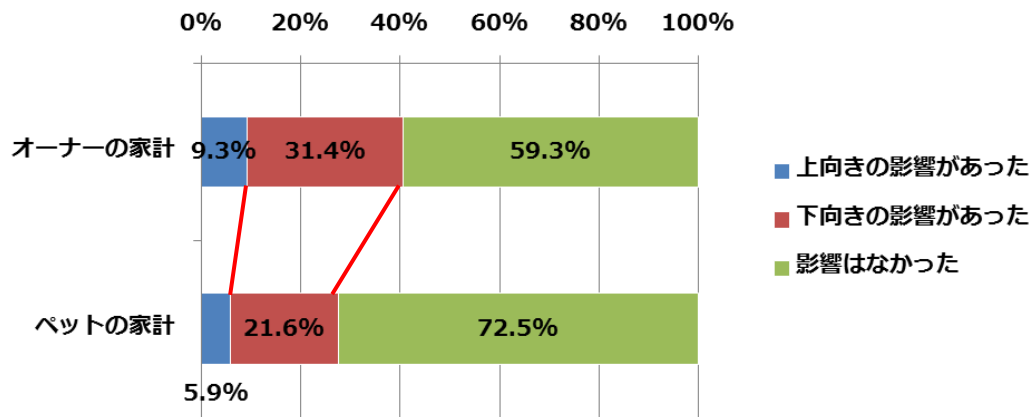
## NewsRelease

### ■ペットの種類別 1ヶ月の平均飼育費用の対比

回答結果	2011年平均 (全体平均)	2012年平均 (全体平均)	2013年平均 (全体平均)	2014年平均 (全体平均)	前年比
プードル	¥ 12,705	¥ 13,746	¥ 15,599	¥ 12,879	↓ 82.6%
その他の犬種 (大型犬)	¥ 10,491	¥ 9,464	¥ 12,955	¥ 11,414	↓ 88.1%
シー・ズー	¥ 7,600	¥ 5,625	¥ 14,925	¥ 11,308	↓ 75.8%
ヨークシャー・テリア	¥ 10,945	¥ 9,522	¥ 13,418	¥ 11,235	↓ 83.7%
フレンチ・ブルドッグ	¥ 10,209	¥ 8,558	¥ 11,754	¥ 11,389	↓ 96.9%
チワワ	¥ 8,140	¥ 7,957	¥ 10,316	¥ 9,741	↓ 94.4%
柴犬	¥ 9,998	¥ 10,297	¥ 11,775	¥ 9,979	↓ 84.7%
ダックスフンド	¥ 9,247	¥ 8,739	¥ 10,957	¥ 9,670	↓ 88.3%
ポメラニアン	¥ 11,780	¥ 9,496	¥ 14,321	¥ 8,842	↓ 61.7%
その他の犬種 (中型犬・小型犬)	¥ 8,290	¥ 8,368	¥ 10,123	¥ 7,983	↓ 78.9%
猫	¥ 6,148	¥ 5,948	¥ 7,160	¥ 5,185	↓ 72.4%

各犬種別で比較をすると、最も費用が高額だった犬種は「プードル」¥12,879で4年連続の第1位となりました。

### ■2014年のあなたご自身の家計、ペットにかかる家計を振り返って、アベノミクスの影響はありましたか？ (単数回答) n=1,000



ペットオーナーおよびペットの家計に対するアベノミクスの影響について質問したところ、「影響はなかった」との回答がペットオーナーの家計では59.3%、ペットの家計では72.5%となり最も多くなりました。アベノミクスの影響により企業の業績を押し上げる傾向がうかがえますが、個人の家計に対しては、企業と比べ影響が弱いことがうかがえます。また、ペットの家計は、下向きの影響の割合がペットオーナーの家計と比べ約10pt低く、ペットオーナー自身が家計への影響を受けつつも、ペットの家計を維持しようとするペットオーナーの想いが読み取れます。

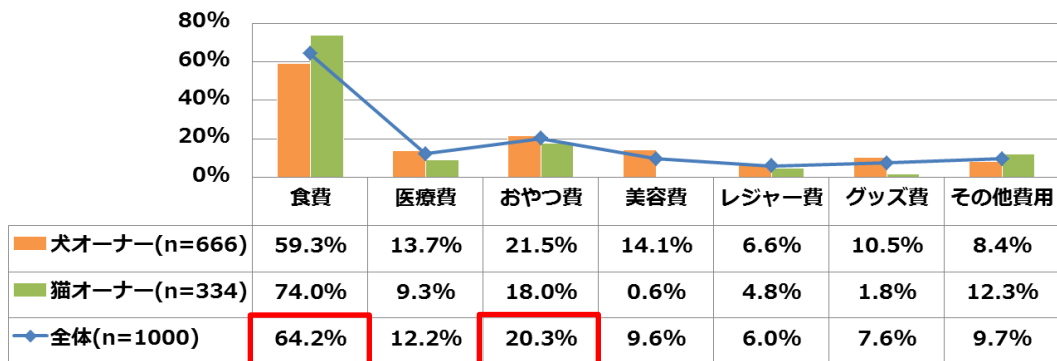
## NewsRelease

### ■あなたがペットの家計のやりくりで、工夫していることを教えてください。 (自由回答) n=1,000

- 高くても健康に良い食べものをあげている。 具合の悪い時には早めに病院へ行く。 その方が結果的に費用が抑えられる。(70代女性・猫オーナー)
- ドッグフードはなるべく安価な時にまとめて購入しています。(40代男性・犬オーナー)
- あそび道具やエサは手作りの物を使う。(40代男性・猫オーナー)
- おもちゃや、ペット関連の雑誌の購入を控える。(50代男性・犬オーナー)
- シャンプーや耳掃除、爪切りなどは自分でやるようにしている。(40代女性・猫オーナー)
- できるものはすべて手作りに徹する！安心安全しかも安上がり。(50代女性・犬オーナー)
- ペットシートの上に古新聞を敷いてトイレを節約する。(50代女性・犬オーナー)

ペットの家計のやりくりで工夫していることをお聞きしたところ、様々な回答が集まりました。まとめ買いで金額を安く抑えるほか、自宅でペットのケアを行なう、おもちゃやフードを手作りするなどの手間をかけて出費を控えるという回答が多くありました。ペットオーナーの方は参考にしてみてはいかがでしょうか。

### ■あなたがペットの費用でもっと費用をかけたいものをお答えください。(複数回答) n=1,000



もっと費用をかけたいと思っている費用は「食費」が 64.2%と半数以上が回答、次いでおやつ費が 20.3%となりました。「食費」「おやつ費」は、2013 年と比べペットの家計に占める割合が増加しており、平均費用が減少するなかでも「食」を充実させたいというペットオーナーの意向が汲み取れます。

## NewsRelease

■あなたが2014年に奮発して購入したものの金額をお答えください。(数値入力) n=1,000

ペットに奮発して購入したものの 購入金額	票数	あなたご自身に奮発して購入したものの 購入金額	票数
購入していない	652	購入していない	609
3,000円未満	27	3,000円未満	20
3,000円以上10,000円未満	50	3,000円以上10,000円未満	45
10,000円以上30,000円未満	32	10,000円以上30,000円未満	81
30,000円以上50,000円未満	44	30,000円以上50,000円未満	46
50,000円以上100,000円未満	14	50,000円以上100,000円未満	61
100,000円以上200,000円未満	79	100,000円以上200,000円未満	51
200,000円以上300,000円未満	53	200,000円以上300,000円未満	28
300,000円以上500,000円未満	14	300,000円以上500,000円未満	20
500,000円以上	35	500,000円以上	39

ペットに奮発して購入したものの 高額商品ランキング	金額	あなたご自身に奮発して購入したものの 高額商品ランキング	金額
犬小屋	700,000円	自動車	20,000,000円
医療費	300,000円	ポルシェ	8,000,000円
病気治療	280,000円	リフォーム	7,500,000円
クーラー	150,000円	自動車	4,300,000円
一匹増えた	120,000円	自動車	4,000,000円
餌、保険、ペットハウス、冷暖房設備	100,000円	自動車	3,800,000円
ゲージ、犬小屋	80,000円	自動車	3,500,000円
犬小屋、キャットタワー、 ペットカート、ロイヤルカナン、 ホテル、避妊手術、 お気に入りのおもちゃ	50,000円	自動車	3,300,000円
犬ハウス	48,000円	自動車	3,200,000円
ペットカート	40,000円	自動車	3,000,000円

2014年にペットのために奮発して購入したものと、オーナーご自身のために奮発して購入したものをお聞きしました。ペットのために購入したものでは「犬小屋」や「ペットカート」といった商品に複数の回答が集まりました。また、商品ではありませんが、上位には医療費という回答も複数あり、家計における医療費の割合は減少しているものの、万が一の際の負担が大きいことがうかがえます。一方、オーナーご自身のために奮発したものでは「自動車」が多く回答される結果となりました。上手にやりくりをしてペットやご自身のために奮発するという方が多いのかもしれませんが。